



## ポスト COVID-19 の文化創造経済： ベルリン・ロンドン・東京のグローバル都市間比較

研究代表者：池田 真利子（筑波大学芸術系）

共同研究者：Morgner, Christian（University of Leicester）

Rellensman, Luise（Brandenburgische Technische Universität）

### 1）研究期間

短期集中型（2020年5月～10月）

### 2）応募時の目的・目標・達成イメージなど

#### 【応募時の目的・達成イメージ】

本研究は、新型ウィルスの世界的流行により影響を受け、芸術表現や創造活動の困難な状況が当面継続すると想定されるなか、行政支援対応の難しい小規模文化経済事業所の自立支援の可能性を探るため、オンラインツールを用いて

- ①海外の若手共同研究者とリモートで協力・連携し、
- ②オンラインインタビュー調査およびそれに基づく情報交換および国際共同研究への基盤形成に位置付けた共同調査を行いつつ国内外の現状や課題を的確に認識し、
- ③事例集（ベストプラクティス）を提供することにある。

#### 【応募時の目標】

新型コロナウイルスの世界的流行により「3密（3Cs）」の条件を満たす文化芸術関連施設（文化ホール・劇場・ライブベニュー・スタジオ等）は地域を問わず営業停止・自粛の状況にある。ドイツのグリュッター文化メディア担当大臣の緊急声明（2020年3月23日）にて、アーティスト保護のための救済策（即時支援・生活保護・法的措置の3本柱）が出されたことで、日本の文化行政における補償と文化活動維持のための早急な対応が必要であるとの認識が急速に広まり、文化行政関連学会では提言案がまとめられ文化庁に提出された\*。しかし、文化財行政における「文化」の定義を文化芸術振興法（日本）等の国の法律に依拠せざるを得ない事情のなか、若いアーティストや製作活動・表現の場でもあるアートスタジオ等の小規模文化経済関連事業所は行政支援策で救いきれない状況が発生している。そのため、国政や自治体が支援開始するまでの間、日本国内外で行政の支援を最小限に運営継続する、あるいは自立的に運営継続している事例を独自に探し、成功事例集やそのノウハウを簡単にまとめ、オンラインで無償提供することを目標とした。

\*例として「文化経済学会<日本>」では「文化領域における新型コロナウイルス感染拡大対応提言WG」（2020年4月4日～至、現在）が発足し、第一次提言は4/8に文化庁に提出された。当該WGには申請者も参加した。



### 3) 本プログラムで実施した研究の内容と成果

#### 【実施状況】

本研究グループは、各週1回のペースでオンラインMTを実施した(表参照)。6月MTでは、イギリス・ドイツ・日本の文化創造産業および各国文化政策の現況に関する意見交換と本プロジェクトの妥当性・実現可能性に関する議論を行った結果、オンラインインタビュー調査を主体とすること(各国20件程度を目標、謝金額から換算)／文化創事的業種のなかでも、3密条件に該当し、その他事業種にとっても重要な音楽産業を事例とすること／各自のエフォートに配慮し、国際共同研究加速Bとの連携をもたせるための「夜」の研究に関連させること(妥当性・実現可能性の向上)とした。その結果、11月末現時点で28件(うち、クラシック音楽5件、現代音楽23件)のインタビュー調査を実施することができた。これに基づき、②学術的知見を整理・論文化するとともに、2020年度中に国際ジャーナルへ投稿する予定であり、③の実例をHP(<https://marikoi.wixsite.com/culturalpractice-uot/home>)で公開するための情報整理を行う。

### 4) 研究業績・研究広報

#### 論文

- 池田真利子 (2020) : コロナ時代の「夜」の地理学－音楽と音の紡ぐ未来, 地理, 古今書院, 第65巻第10号, pp.4-12, 2020年10月\*
- 池田真利子, 田中順也, 小竹輝幸, 小林愛, A. TEMESGAN(2020) : コロナ時代の夜間音楽経済, 地理, 第65巻第10号, pp. 13-19, 2020年10月\* 巻頭論文に一括掲載
- 太田慧, 飯塚遼, 杉本興運, 池田真利子(2020) : 夜のウォーターフロントの再編とナイトライフ, 地理, 古今書院, 第65巻第10号, pp.20-27, 2020年10月\*
- 坂本優紀, 池田真利子, 磯野巧, 卯田卓矢, 柿沼由樹(2020) : 自然のなかの光と音の観光, 地理, 第65巻第10号, pp. 20-27, 2020年10月\*
- 池田真利子, C. MORGNER and L. RELLENSMAN(2020) : コロナ時代の研究とフィールドワークの再考, 地理, 第65巻第10号, pp. 51-55, 2020年10月\*

#### 会議論文／フルペーパー

- 池田真利子, C. MORGNER(2020) : 都市・文化政策における「夜」の研究可能性－ヨーロッパの「夜間経済」に注目して－, 文化経済学会<日本>2020年度研究大会論文フルペーパー, 文化経済学会, 14頁, 2020年7月
- M. IKEDA and C. MORGNER(2020): Immaterialities of the Jewish Heritage in modern society: Focusing on the cultural conservation movement in the former Eastern inner-city districts of Berlin, Full paper of Heritage 2020, green lines institute for sustainable development, 10 pages, Sep. 2020
- C. MORGNER, and M. IKEDA(2020) : Cultural Policies and Night-times Economies in Germany/Berlin and Japan/Tokyo, 1st International Conference of Night Studies, Instituto Universitário de Lisboa, Nov. 2020

#### 学会発表

- 池田真利子, C. MORGNER(2020) : 都市・文化政策における「夜」の研究可能性－ヨーロッパ



の「夜間経済」に注目してー，文化経済学会<日本>2020年度研究大会，文化経済学会，オンライン，2020年7月\*発表中

- 池田真利子，坂本優紀，杉本興運，田中順也，C. MORGNER (2020)：グローバル・ノースの「夜」と音楽一夜の時間一空間を多角的に捉える，日本地理学会シンポジウム S3(非会員公開)，オンライン，2020年11月\*発表中
- 池田真利子，坂本優紀，杉本興運，田中順也，C. MORGNER (2020)：グローバル・ノースの「夜」と音楽一都市と自然の二項対立を超えて，日本地理学会シンポジウム S301(非会員公開)，オンライン，2020年11月\*発表中
- 池田真利子，田中順也，小竹輝幸，Temesgen, A. (2020)：グローバル・ノースの音楽一「物質的制約」を超える電子音楽の現状と可能性一，日本地理学会シンポジウム，S302，オンライン，2020年11月\*発表中
- 坂本優紀，池田真利子 (2020)：ウィンターリゾートにおけるインバウンド観光客と夜間経済の現状一長野県白馬村の音楽空間に注目してー，日本地理学会シンポジウム，S303，オンライン，2020年11月\*発表中

## 5) 最新の成果・情報

筑波大学「知」活用プログラムウェブサイト>池田 真利子

[https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight\\_covid19/ikeda/](https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19/ikeda/)

## インタビュー記事

[https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight\\_covid19\\_interview/ikeda/](https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19_interview/ikeda/)